

# そぼくな疑問

## Q

横山式筋二点療法とは、どのような治療法ですか。また、その効果と適応疾患を教えてください。

千葉県(M・S)

療法名から推察できるように、2つの骨格筋を使って痛みを消そうと言う治療法のことですが、2つの骨格筋とは、1つ目は現在、主訴疾患として痛みを感じている筋のこと、2つ目は、1つ目の筋に反応する骨格筋のことで、2つ目の筋を探す作業に、この治療法の成功の成否が掛かっております。2つ目の筋が正確な反応筋ならば、1つ目の圧痛点の痛みは瞬時に消えるので即座に効果が判明できます。筋二点療法と命名した所以です。

ある骨格筋に痛みが発生しているとして、痛みが100%消える反応筋は本来1点しかない筈ですが、100%消痛の反応点を探すのは慣れ次第の技、しかし、最低60%程度消える反応筋は複数存在しますから、その中から消痛%の高い反応筋を第1候補として2つ目のポイントとして使い、2点間を結ぶ形で相互刺激を与えるのが治療法となります。

この場合、1つ目の圧痛点は軽くタッチするだけですから全く痛

くない治療法です。

従来からの治療法は、圧痛点、ここで言う1つ目の点だけを揉んだり、擦ったり、叩いたり、引っ張ったり、温熱をかけたたり、低周波をかけたりしていたと思いますが、効果は今一つだったと思います。言うなれば、筋1点療法だった訳です。

痛みとは、凝りやシビレも同じですが、筋・腱が異常硬結によって収縮し、神経を圧迫して起こる訳ですから、硬結している筋を緩めてあげれば痛みも消える原理なのですが、残念ながら、筋弛緩の技術は、これまで長い歴史の中でも誰も成功しませんでした。

従って、消痛治療はモルヒネや、神経ブロックなどのペインクリニック以外、手技によるもので速効性を望むのは無理、との認識で一致していたと思います。

昭和60年、筆者は治療中に変位した胸椎を正常位置に戻す施術の際、ここを1つ目として押さえ、2つ目を腕橈骨筋にして2点間を両手指先で結んだところ、何として

も戻らなかった胸椎が、スルリと戻ったところから、筋肉に性質を割り出し、椎骨周辺筋の硬結で椎骨変位が起こされている事実を証明、椎骨は変位させられている、と言う表現を使うべきだし、椎骨アジャストをしなくても、多裂筋などの周辺筋と、反応筋を見つけることで椎骨矯正も容易にできることから、筋カイロプラクティックの新説を発表致しました。

この一件を契機に、1つ目の筋と2つ目の筋との関連を患者治療を使ってつぶさに研究、10年の歳月をかけて集大成させ、「圧痛点の痛みを消す反射筋一覧図表集」として出版、この療法を学習するセミナー受講生の教科書にもなっております。

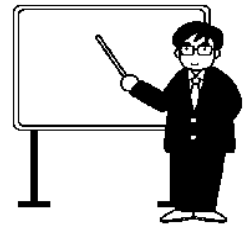
疾患別に纏めてありますが、関与するのは骨格筋ですから、肩凝り、腰痛、膝痛、五十肩、側方変位腰痛、背部痛、ギックリ腰、神経痛、捻挫に至るまで、骨格筋ごとに分析してみれば、どんな疾患でも治療対象になるし、根本治療に結びつきます。

### 横山式筋二点療法の基本原則

- 1 圧痛点に対する反射点の存在説
- 2 筋二点間刺激の有効性確認
- 3 筋異常硬結上肢起因説
- 4 筋異常硬結一次移行・二次移行説
- 5 人体構造類似点存在理論
- 6 人体多重構造存在理論
- 7 電磁波障害除去法有効性確認

### 治療前の基本検査

- 1) 5種類の検査法
  - 1 Oリングテスト
  - 2 上肢・下肢で検査
  - 3 筋反射による検査
  - 4 全身を軸とした検査
  - 5 手指による検査  
特 センサーによる検査
- 2) 姿勢検査
  - 1 立位
  - 2 座位
  - 3 仰臥位・伏臥位
- 3) ボディー検査
  - 縦軸・横軸の狂い
- 4) 足底検査
  - 内臓機能低下の確認検査



# A

回答者 横山式筋二点療法ゼミナル会長  
横山紗弥 (桂子改め) さん

〒300-0051 土浦市真鍋4-5-2  
TEL029 (821) 6084・FAX029 (835) 2078  
<http://www.yokoyama-kin2ten.com>

なぜならば、筋肉硬結のメカニズムが、この療法の分析から解明されているからです。

下表のように横山式筋二点療法には、幾つかの理論がありますが、これらは初めから仮説を立てて作られたものでなく、何十万例もの臨床例を検証し、2点間の骨格筋の関係を分類統計処理をした結果の理論だからです。

私どもが主催しているセミナーの受講生は、医師、PT、柔整、指圧・マッサージ、鍼灸、カイロ、療術各分野の治療従事者が大半ですが、受講生だった大学医学部の教授も、追試までしてこの療法の理論の正しさをレポートしておりました。只、残念なことに、ネーミングを英訳して学生や、一部のPTに、独自のセミナーで教えていたことも判明し、魑魅魍魎のこの業界の姿を覗かせております。

「横山式」とした理由ですが、もう暫くは、開発者の冠は外せそうもありません。

2 目目の反応点の探索が、この

療法の成功の成否を決める、と書きましたが、この重要な探し方の指導ポイントが正確に伝わらないと、この療法は成り立ちません。研鑽を積んだ一部の受講生しか、第3者への指導は許可していない理由です。

最後に、もう一つの効果をお知らせ致しましょう。

治療に来院する患者を見ていて感じたのですが、痛みが全治すると同時に、殊に女性の場合、顔の形は左右揃うし、お望みの小顔にはなる、シワ、たるみは消えてしまう、とエステサロン顔負けの効果が出ていることに気がついたのです。勿論、患者も気がついていて大変な喜びようでした。

なぜだろうと考えましたら、この療法では、各疾患に対して対症療法は施さず、根本療法に徹して、指先から施術を行いますし、必ず、電磁波障害からの除去

施術も加えます。又、体軀の縦軸、横軸の調整を基本施術にしておりますから、勢いその影響はストレートに顔や、他の部分の皮膚にも効果が現れていたのです。その上、必ず、内臓機能低下の復活施術も致しますから、リンパの流れもスムーズになります。リンパマッサージも横山式の方法ですから、当然効果は他に類を見ません。

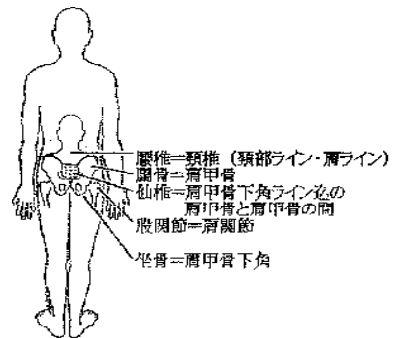
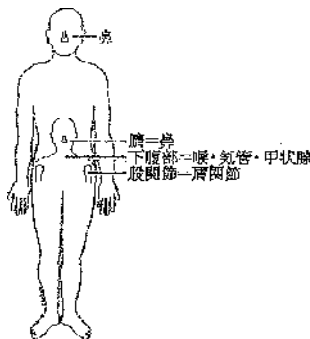
今回、フィンガーダブルマジック整体エステ講座と名づけて新しいセミナーのコースを開設した理由です。治療院の新しいメニューに加えられることと思います。

同じ治療法で、痛みを消しながら、エステの効果も同時に期待できる新方式の整体エステ、治療界とエステ業界の融合が計られることになるかと注目されております。

### 治療行為に際しての順序

- 1 電磁波障害除去
- 2 反射点探索
  - 1 直接法
  - 2 間接法
- 3 人体構造類似点理論
- 4 人体多重構造理論
- 5 シーン操作の習熟
- 3 刺激
- 4 刺激前と後の確認検査

検査→治療→検査→治療



人体多重構造理論